

## 酒匂川の石の観察会



- 1 日時 平成28年11月26日（土）午前9時00分から午前11時30分
- 2 場所 酒匂川（金手）
- 3 参加者 19人 サポーター3人



ここは酒匂川の河原です。  
河原にはたくさん石がありますね。  
これらの石はどこから来たのでしょうか。  
川の上流で大雨が降って、大きな岩石がごろごろとぶつかりながら砕けて、運ばれてきたのです。  
ですから、河原の石を調べると上流にどんな石があるか分かるのです。



西側を見ると、今日は曇っていて富士山は見えませんが、三角おにぎりの形をした矢倉岳や足柄山地が見えます。

また、その南側に雲で覆われていますが箱根火山が見えます。



今度は、北側を見てみると、手前の山が松田山です。

標高は約 500m くらいです。

その後ろに見えている三角形の山は丹沢山地です。

標高は約 1,700m ある山もありますが、遠くにあるので松田山よりも高く見えませんね。



東側を見てみると、大磯丘陵の低い山が見えます。

私たちが今いる場所は、このような山に囲まれた場所にいるのです。



河原に来ました。  
いろいろな色や形の石がありますね。  
それでは、今から、自分の気に入った  
石を拾ってきてください。



いろいろな石が集められました。  
では、拾ってきた石のどこが気に入った  
か発表してください。

子

「二色に分かれているところ」  
「小さな穴が開いているところ」  
「白い線がたくさん入っているところ」  
「ざらざらして割れたところ」  
「緑色がしましまになっているところ」

今度は、これらの石を同じ仲間に分けし  
てみましょう。



この石は黒っぽくて穴がたくさん開い  
ていますね。  
これらの穴は、溶岩が固まったときに火  
山ガスが抜けた穴で富士山から流れて  
きた石です。



この石は白いしましまがありますね。

これは、水の中で火山灰が沈むと重たい火山灰は軽いものよりも下にたまります。これが繰り返されて石になると、しましまの模様の石になります。



この石は、表面がざらざらしていて、割れやすいですね。この石は小石や砂が固まってできた石です。



砂よりも大きな小石が固まってできた石を「礫岩」、砂が固まってできた石を「砂岩」、泥が固まってできた石を「泥岩」と呼んでいます。





この石は、ごま塩のような模様をしています。今から約 500 万年前に丹沢の地下の深いところでマグマがゆっくりと固まってできた岩石で、石全部が結晶のかたまりでできています。花こう岩の仲間です。



火山が噴火して流れ出した溶岩から作られた岩石のことを火山岩と言います。

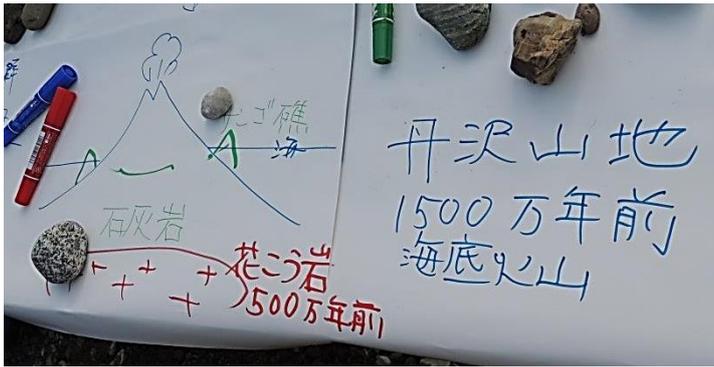
また、地下の深いところでマグマが固まってできた岩石のことを深成岩と言います。



### 丹沢山地の誕生について

丹沢山地は、今から約 1,500 万年前温かい南の海で海底火山として誕生しました。

海底で溶岩が流れ、玄武岩という火成岩や火山灰が固まった凝灰岩という堆積岩ができました。



やがて、海底火山の頭が海面から出て島ができると、島の周りにはサンゴが棲みつきサンゴ礁ができました。サンゴ礁が長い年月かかって固まると石灰岩という岩石になりました。



約500万年前に地下の深い所にマグマが入ってきて固まり、花こう岩という深成岩ができました。

このときにマグマの熱で周辺の岩石が変化して、ホルンフェルスというとても固い変成岩になりました。





丹沢山地から川によって石が運ばれ、海に土砂がたまりました。

約 200 万年前、丹沢山地に箱根山がぶつかり、海にたまった土砂を押し上げ足柄山地ができました。

礫岩、砂岩、泥岩は足柄山地から流れてきた石です。



酒匂川の石にはいろいろなところから流れてきた石があることが分かりましたね。



それでは、今からもう一度石を拾って酒匂川の岩石の歴史や種類が分かる「足柄の岩石歴史図鑑」に貼ってみましょう。

石を貼る前に先生に見せてから貼ってくださいね。



酒匂川の石を観察することで、この地域の大地の成り立ちが学習できました。

